

『困ったときに、手に取ってもらえる手帳を作成したい!!』

イメージづくり①ターゲットの明確化

『一番、どんな方に活用してもらいたいのか。』

- ①・困っている（周りにサポートをしてくれる人がいない）人。 年齢制限できるものではない。
 - ・一人暮らし高齢者で人と付き合いがない人。
 - ・長生きしたい人。
- ②・見る人も支援する側も、お互いにwinwinになったらいい。
 - ・不安感を解消したい、やわらげたい
 - ・頼る人がいない、近所付き合いのない人、区長さんに頼む人もいるが周りの人に色々と言われる
 - ・ちょっとした困りごと…町部の方が大変かも（もともと便の悪い人などは、自分たちでがんばっている）
 - ・間に入ってくれる人（サポートのサポート）に活用してもらいたい
手帳をもらっても読まない、わからない人もいる
→手帳の事を教えてくれる人、一緒に考えてくれる人 コーディネーターが必要!!
- ③・困っている方
 - ・地域で世話方をしている方
- ④・声が自ら出せない方。助けを求められない方。独居の方。
 - 子どもに遠慮している人も多い（迷惑をかけたくない、怒られる…）
- ⑤・介護、障がい等の保険対象外の方
 - 一般的なサポートを必要としている、ちょっとした困りごとを抱えている
 - ・地域との関わりがなく孤立している人、家族がいても頼れない人
 - ・助けを求めることが下手な人
- ⑥・一人暮らしの高齢者で身近にサポートしてくれる人がいない方
 - ・老老夫婦（例えば80才以上など）
 - ・遠方に住むお子さん

その方々は、どんな情報が必要だろうか。

- ①・手帳を見て誰に頼めば良いかとヒントが得られるようなもの
 - ・直ぐ見られるように、壁に貼れるようなポスター形式とか… イラストも入れて
 - ・事柄、買い物、通院、電球交換…項目に分けて記載
 - ・質問先、電話番号を大きく記載

- ②・イラストを中心に… ポスターもよい

- ③・困りごとに対して、何のサービスが受けられるのか
一人ひとり必要なサービスは違うはず。そのサービス、本当に必要なの？という部分がある。
自助の強化と適切に互助や共助が受けられることも大事だと思う。 いずれ、サポートばかりではなく、自立支援に向けた項目も入れても面白いと思う。
 - ・自分の困りごとを解決できるヒントがもらえる内容
例えば『ウオロクが移転し近所になくなった』『移動販売があるらしい…じゃあ、どうやったら自分の近所にも来もらえるのだろうか』→とくし丸を呼ぶ方法についてストーリー仕立てで伝える

- ④・連絡先
 - ・費用の有無→無料だと逆に頼みにくい。割安だとありがたい。
有料の方が気が楽（お返しに悩む）
 - ・手伝ってくれる所の問い合わせ先 難聴の方にも対応できる工夫が必要
 - ・困ったらまずはここ!! の様なステッカーを作成して、電話の近くに貼ってもらう

- ⑤・専門の方（コーディネーターなど）のいる機関のサポート情報
例えば、奥山の荘では、タンス等大きいものを解体してゴミステーションまで持っていってくれるサービスがある
〇〇では、△△△をしてくれる

- ⑥・ゴミ出し、移動販売、買い物の手伝い、灯油入れ などのサービス
 - ・オンライン診療とオンライン診療をサポートしてくれる人の情報

サービス

サポート

イメージづくり③ 手帳作成について

困った時に手に取ってもらえる手帳を作成したい!!

イメージづくり③ 手帳作成について

困った時に手に取ってもらえる手帳を作成したい!!

どのように作成するか

- ④・他市町村で既にあるものを参考にする
 - ・民生委員、JA、サロンリーダー、区長、障がい者施設の方、介護サービス利用者など、当事者家族（介護者）
 - ・チラシ配りをしている方（まるごと下越？）が相談にのって、手伝ってくれる人もいるようだ
- ⑤・通いの場やサロンでアンケート 行く先々で聞く
 - ・ケアマネなど、専門職のモニタリング時に話題に出す
 - ・町内の広報誌でお知らせ
- ⑥・困りごとをカードに書いてもらい投稿してもらう
 - ・地域

○どこに声をかけて、一緒に取り組んでいったらよいか

- ①・マップ作成している社協とタイアップしていく
 - ・偶数月に1回 区長、区の役員、老人クラブ代表、サロン代表、民生委員、保健推進員で委員会を開催する。問題が浮かび上がってくるだろう。→サポート（誰がどんな）
このシステムを各町内で行い、町内の代表者で話を集約できれば…
- ③・30か所ある通いの場を活用してはどうか。
『今日は、困りごとをの情報交換の日』のように設定して、生活支援コーディネーターを中心に聞き取りに行く
 - ・区長、民生委員
 - ・社協
- ⑤・奥山の荘
- ⑥・小規模の商店

○どのような方法で行いますか

- ④・人選をして集まって検討
- ⑤・ゴミカレンダーに記載
 - ・市報たくない
- ⑥・商店街の組合に声をかけ、手挙げ方式